

# とうわ 藤和けんこう通信



2014年9月号 VOL.47

痺れにお困りの方はお任せ下さい

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）  
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482

## 痺れ(しびれ)の鍼治療のエキスパートがいます！

確かな腕と経験がないと  
できない治療法です。



野田 英次郎  
鍼灸マッサージ師  
痺れはお任せ下さい

痺れ



シビレでお困りの方は  
ぜひ1度受けてみ  
て下さい。

腕の痺れ、足の痺れなど、どうぞご相談下さい！！(75歳以下の方推奨)

ご依頼の際は必ず事前に、『痺れの治療を希望』とお伝えください。

治療が難しい方 認知症の方/脳血管障害・難病による痺れ/広範囲の痺れ

実際に、痺れで困っていた方が鍼治療のエキスパートである野田の鍼治療によって症状が改善されたケースが多数あります。  
※全ての痺れが治るわけではありません。改善されないケースもあります。

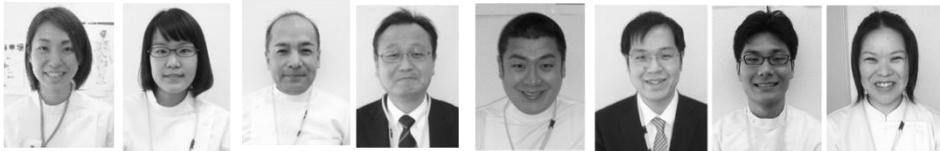


女性施術者の代永涼子さん(写真中)が入社しました。  
町田院所属3人で元気ショットです。



施術者の渡辺育美さんの送別会を7月末に開催しました。

女性から  
ベテランまで



馬場悦子 野々村 眞 大川 寛 石井 武司 丸山 修一 加藤 賢史 長谷川 佳汰 代永 涼子

幅広いスタッフ  
が揃っています！



須藤 新 長谷川 加代 添田 眞理子 板垣 鋭司 榎本 多佳子 小木 野貴史 近藤 マチ子 岩本 友保 野田 英次郎 石井 旭 笹川 雄司 若井 清美



# 利用者様・患者様から頂いた心に残る一言大賞 エピソード募集しています！



発表・投票・表彰式  
10/25(土)午後7時  
場所/おださがプラザ  
(小田急相模原駅4階文化交流プラザ)  
参加自由/無料 申込不要

利用者様・患者様から頂いた心に残る一言大賞 エピソード募集要項	
募集内容	介護・医療の現場で利用者様・患者様から頂いた心に残る一言を募集します。その一言にまつわるエピソードも書いて下さい。(最大800文字以内)
募集期間	2014年8月20日～2014年10月20日
地域・対象	県央地域(相模原・座間・大和・海老名・綾瀬・厚木)及び町田市地域で活躍する介護・医療関係者の皆さん
応募方法	専用用紙にご記入いただき、郵送またはFAXで応募して下さい。 応募先FAX: 042-851-6442 郵送先: 〒252-0314 相模原市南区南台4-13-23(藤和マッサージ宛)
発表・表彰式	10月25日(土)午後7時00分より 場所 おださがプラザ(小田急相模原駅4階文化交流プラザ)にて、それぞれエピソードを発表し、来場者全員による投票で大賞を決定します。
賞品	最優秀賞 クオカード(5000円分) ※エピソードを応募頂き、発表表彰式に参加頂いた方には漏れなくクオカード(5000円分)を進呈します。



## 新しい施設でマッサージ体験会開催！

8月23日、24日にグランヴィル鳳凰館町田根岸さんの内覧会にて、見学者の方向けに体験マッサージ会を開催させて頂きました。今年5月に新規オープンしたばかりで、館内は大変綺麗ぴかぴかで幸せな生活を予感させてくれる、幸せが溢れる素晴らしい施設でした。見学者の方にマッサージを受けて頂きまして、暖かいお言葉を頂きました。皆様ありがとうございました。

(体験会場所:グランヴィル鳳凰館町田根岸さん 東京都町田市根岸2-30-10)

## 学生が職場見学に来ました！！

8月5日火曜、院内で行われた定例会・研修会に学生2名が見学に来ました。来春卒業予定の鍼灸マッサージ師の学生の方が真剣なまなざしで将来の職場を見極めていく姿が印象的でした。積極的に勉強熱心で将来期待大◎です。



口座引き落としでの集金を導入致しました。2カ月に1回の引き落としになります。  
9月・10月施術分は11月27日に引き落としになります。

### 新施術者の横顔



代永 涼子さん  
鍼灸マッサージ師

趣味 登山・ダイビング  
野球好き 特に高校野球が好きです。  
患者さんに対してとても優しいです。4人兄弟です。

## タッチ

あだち充の名作漫画『タッチ』いつ読んでもいいです。タイトルの『タッチ』の由来とは何か知っていますか？  
てっかり、主人公の名前・達也から来ていると思っていましたが、そうでないみたいです。  
『バトンタッチ』の意味が込められているそうです。弟の夢を兄が引きついでいく事を意味するバトンタッチ。確かに第12話にバトンタッチというサブタイトルがついた、中学生時代の3人が活躍する運動会のリレーの話があります。



## 脳梗塞は12例…糖尿病新薬で副作用

(2014年8月30日読売新聞)

今年4月以降に相次いで発売された糖尿病治療薬「SGLT2阻害薬」で様々な副作用が報告されている問題で、日本糖尿病学会は29日、報告された副作用件数は、今月17日までに脳梗塞12例、低血糖114例、皮膚症状が500例以上に達したと発表した。新薬は、腎臓で尿に出た糖を再び取り込むのを妨げる働きがあり、体重を減らす効果がある。一方、服用後は尿の量が増え、体内の水分が減るため、脱水への注意が必要とされている。

## 障害年金訴訟、国の敗訴確定…証言で初診日認定

(2014年8月15日読売新聞)

障害厚生年金の支給申請に必要な「初診日」の証明を巡り、医療記録がなくても第三者らの証言で特定できるとして、兵庫県の60歳代女性への支給を認めた7月31日の大阪地裁判決について、国は14日の期限までに控訴せず、国の敗訴が確定した。厚生労働省は「判決を覆すのは難しいと判断した」としている。

地裁判決によると、女性は会社員だった1987年1月、失明に至る進行性の病気と診断され、両目の視力が徐々に悪化。2009年11月に社会保険庁(現・日本年金機構)に支給を申請したが、当時のカルテなどがなく、初診日を確認できないとして却下された。

地裁は判決で、本人の説明や眼科に同行した知人の陳述書などを踏まえ、「総合的に判断すべきだ」として、申請翌月以降の支給を命じた。

## ヤフー、遺伝子検査に参入へ…生活習慣病を検査

(2014年8月18日読売新聞)

ヤフーは、個人向けの遺伝子検査サービスを10月から始める。生活習慣病のかかりやすさなど約300項目を検査できる。利用者は、検査キットを取り寄せ、唾液を採取して郵送する。糖尿病や脳卒中、肥満、不眠症などのかかりやすさのほか、尿酸値・飲酒量などの体質、自分と同じ遺伝子を持つ祖先がどこで生まれてどう移動してきたかも分かるという。料金は未定。

## 認知症の徘徊で鉄道事故 91歳の妻に約360万円の賠償命令 名古屋高裁 判決は妥当か・・・

(医療介護CBニュース)

愛知県大府市で2007年12月、徘徊症状がある認知症の男性(当時91)が電車にはねられ死亡した事故をめぐる、JR東海が男性の遺族に損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決が4月24日、名古屋高裁であった。長門栄吉裁判長は、妻(91)のみに約360万円の支払いを命じ、長男には見守る義務はなかったとして、JR東海の請求を棄却した。一審の名古屋地裁の判決では、介護に携わった妻と長男に請求通り約720万円の支払いを命じていた。時事ドットコムなどが報じた。死亡した男性は「要介護4」で、介護にあっていた当時85歳の妻自身も「要介護1」と認定されていた。遺族側の弁護士は、報道陣の取材に対し「遺族は十分に介護に努めていたと考えるので、判決には納得できない」と話したという。

発行元

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ  
【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】